

1. 目的

現行計画の成果指標のうち、男女共同参画等の意識に関するものの現状を把握するため実施。あわせて、新たに制定された関係法令等をふまえ、その他の設問も追加し、現状の意識を把握する。

2. 調査対象

18歳以上の神戸市在住者（性別・年齢区分は神戸市の人口構造による）

3. 調査時期

令和7年6月

4. 実施機関

民間調査会社

5. 回答者数

900名

6. 調査の内容及び結果

Q1:あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

選択肢の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つだけお答えください。

①家庭生活

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	7.0%	4.1%	9.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	28.6%	18.1%	37.7%
平等	39.4%	45.8%	33.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.8%	10.9%	6.9%
女性の方が非常に優遇されている	3.8%	5.9%	1.9%
わからない	12.5%	15.1%	10.2%

②職場

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	13.3%	7.8%	18.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	34.1%	28.7%	38.8%
平等	28.3%	35.6%	21.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.6%	7.3%	4.2%
女性の方が非常に優遇されている	2.6%	3.8%	1.7%
わからない	16.1%	16.8%	15.4%

③学校教育の場

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	4.8%	3.2%	6.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	16.1%	11.6%	20.0%
平等	49.4%	50.4%	48.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.2%	7.6%	3.1%
女性の方が非常に優遇されている	2.3%	4.0%	0.8%
わからない	22.2%	23.2%	21.3%

④政治の場

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	31.8%	20.7%	41.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	37.2%	40.5%	34.4%
平等	17.2%	21.4%	13.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	2.0%	3.3%	0.8%
女性の方が非常に優遇されている	1.1%	1.9%	0.4%
わからない	10.7%	12.2%	9.4%

⑤法律や制度

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	14.0%	7.6%	19.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	29.8%	22.2%	36.5%
平等	33.2%	39.9%	27.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.8%	9.4%	2.7%
女性の方が非常に優遇されている	2.8%	5.0%	0.8%
わからない	14.5%	16.0%	13.1%

⑥社会通念・慣習・しきたりなど

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	19.4%	11.3%	26.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	40.6%	37.7%	43.1%
平等	22.0%	27.9%	16.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4.2%	6.2%	2.5%
女性の方が非常に優遇されている	1.8%	3.4%	0.4%
わからない	12.0%	13.5%	10.6%

⑦自治会やPTAなどの地域活動の場

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	7.1%	5.1%	8.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	23.7%	19.1%	27.7%
平等	36.6%	41.6%	32.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	10.3%	12.5%	8.3%
女性の方が非常に優遇されている	3.4%	3.5%	3.3%
わからない	18.9%	18.1%	19.6%

⑧社会全体

	計	男性	女性
男性の方が非常に優遇されている	10.0%	5.3%	14.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	50.3%	42.3%	57.3%
平等	16.2%	23.4%	9.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	7.1%	9.7%	4.8%
女性の方が非常に優遇されている	2.4%	4.0%	1.0%
わからない	14.0%	15.2%	12.9%

Q2:「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどうかお考えですか。

この中から1つだけお答えください。

	計	男性	女性
賛成	4.0%	4.8%	3.3%
どちらかといえば賛成	24.0%	28.3%	20.2%
どちらかといえば反対	28.3%	25.7%	30.6%
反対	21.4%	15.4%	26.7%
わからない	22.3%	25.8%	19.2%

Q3:これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。

	計	男性	女性
男女共同参画社会	59.9%	63.9%	56.5%
ジェンダー平等	71.2%	69.4%	72.7%
多様性社会	62.3%	62.2%	62.5%
女性活躍推進法	38.1%	38.1%	38.1%
男女雇用機会均等法	70.3%	71.1%	69.6%
ワーク・ライフ・バランス (仕事と家庭の調和)	54.1%	53.7%	54.4%
DV防止法	60.2%	54.7%	65.0%
不同意性交罪、性犯罪・性暴力	58.1%	57.9%	58.3%
困難女性支援法	9.5%	8.3%	10.6%
性的マイノリティ、LGBTQ	63.7%	62.1%	65.2%
見たり聞いたりしたものはない	11.6%	13.1%	10.2%

Q4:生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先順位についてお伺いします。この中から1つだけお答えください。

①あなたの希望に最も近いもの

	計	男性	女性
「仕事」を優先したい	5.0%	7.1%	3.1%
「家庭生活」を優先したい	26.1%	24.8%	27.3%
「地域・個人の生活」を優先したい	6.0%	6.1%	5.8%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	26.3%	30.2%	22.9%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	2.4%	1.9%	2.9%
「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい	10.6%	8.6%	12.3%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	9.1%	4.5%	13.1%
わからない	14.5%	16.8%	12.5%

②あなたの現実・現状に最も近いもの

	計	男性	女性
「仕事」を優先している	15.1%	19.5%	11.3%
「家庭生活」を優先している	34.8%	28.6%	40.2%
「地域・個人の生活」を優先している	5.6%	6.3%	5.0%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	15.8%	17.7%	14.2%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	2.1%	2.3%	1.9%
「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先している	7.5%	5.9%	9.0%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	3.7%	2.1%	5.0%
わからない	15.4%	17.6%	13.5%

Q5:今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に、さらに積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

	計	男性	女性
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	42.2%	33.0%	50.2%
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	19.1%	18.4%	19.8%
夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	46.8%	38.1%	54.4%
年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについても当事者の考え方を尊重すること	28.8%	19.4%	37.1%
社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること	33.2%	28.8%	37.1%
男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	39.1%	32.1%	45.2%
労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	27.9%	22.5%	32.7%
男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	19.7%	14.6%	24.2%
男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること	17.1%	11.9%	21.7%
特に必要なことはない	19.8%	26.0%	14.4%
その他(自由記述)	1.1%	2.1%	0.2%

【内訳】

①育児休業中の給与保障 ②社会のサポート ③金銭的な生活安定 ④自分の価値観を押し付けない

Q6: 男女が格差なく職場等で活躍できる社会の実現に向けて効果的だと考えらえる取り組みや、上記のような取り組みを効果的に実施するための課題、ジェンダー平等社会の実現に向けた課題は何だと思いますか。

- (例)
- ・市内企業へのワーク・ライフ・バランス啓発
 - ・性別役割分担意識を解消するための意識啓発
 - ・女性特有の健康課題に関する認識の向上
 - ・男性の家事育児参加を支援する家事教室・育児教室
 - ・男性育休取得の推進(企業支援・個人向け啓発)

- ①育休取得の推進 ②ワーク・ライフ・バランスの推進 ③政策・方針決定過程への女性参画の拡大 ④企業における男女格差の解消 ⑤無理に女性を要職に起用しない ⑥賃上げや福利構成の充実等による生活の安定 ⑦平等を目指す目標値が独り歩きし、逆差別になっている点の改善 ⑧罰則規定を設ける ⑨強制力は持たせるべきではない ⑩意識改革 ⑪学校・家庭での教育 ⑫家事に対する金銭保障 ⑬男女の価値観の違いをお互いが認識して受け取る。 ⑭夫婦間のコミュニケーション活性化 ⑮古い慣習の排除 ⑯男女の身体特性が異なるため、平等にする必要はない ⑰女性特有の健康課題に対する理解促進 ⑱女性によるハラスメントもメディアで取り上げる ⑲男性育児に関する情報・成功例をメディアで発信 ⑳男性の家事育児に対する相談窓口の設置や各種講座の開設 ㉑同性婚を認める ㉒医学の発展による女性の妊娠・出産からの解放

Q7:神戸市では、災害時の対応に女性の視点を取り入れるため、地域防災計画を作成する防災会議委員の女性割合を増やしています。各地域の防災福祉コミュニティなど、あなたの身近な自主防災組織への女性参画は進んでいると思いますか。最も近いものをこの中から1つだけお答えください。

	計	男性	女性
そう思う	3.0%	3.4%	2.7%
どちらかというと思う	14.9%	17.0%	13.1%
変わらない	27.3%	29.2%	25.6%
どちらかというと思わない	14.0%	11.0%	16.7%
そう思わない	8.0%	6.8%	9.2%
わからない	32.7%	32.8%	32.7%

Q8:次のうち、セクハラに該当するものと思うものを全てお選びください。

	計	男性	女性
身体を触られた	66.7%	65.1%	68.1%
性的な内容の手紙やメール、電話などを受けた	65.1%	64.0%	66.0%
容姿や年齢を話題にされた	46.6%	45.8%	47.3%
異性との交際、結婚や出産などのプライベートについて聞かれた	48.5%	49.4%	47.7%
性的な話や冗談を聞かされた	62.3%	60.3%	64.0%
酒席でお酌などを強要された	49.4%	48.0%	50.6%
性別を理由に不本意な服装を強要された	55.7%	54.8%	56.5%
女性が女性に対して、「女性らしい行動をしろ」と注意した	38.7%	38.1%	39.2%
露出が多い服装をしている女性社員に対して苦情が寄せられたため、その服装を男性社員が注意した	28.9%	28.1%	29.6%
分からない	20.6%	24.2%	17.5%

Q9:あなたは性犯罪・性暴力の相談窓口を知っていますか。Q9:次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てお選びください。

	計	男性	女性
性犯罪被害110番 【兵庫県警察本部捜査第一課】	13.5%	14.7%	12.5%
#8103《ハートさん》 【性犯罪被害相談電話】	5.8%	6.0%	5.6%
ひょうご性被害ケアセンター 《よりそい》	5.1%	4.5%	5.6%
どれも知らない	82.3%	80.2%	84.2%

	計	男性	女性
DV(ドメスティック・バイオレンス)(配偶者やパートナーなど親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力)	58.2%	52.8%	62.9%
デートDV (DVのうち、恋人間で起こる暴力)	29.2%	24.3%	33.5%
面前DV (子どもの見ている前で夫婦間で暴力を振るうこと)	20.4%	15.9%	24.4%
見たり聞いたりしたものはない	24.5%	26.5%	22.7%
わからない	13.4%	16.9%	10.4%

Q10:DV(ドメスティック・バイオレンス)についてお聞きます。あなたがDVにあたると思う行為は次のうちどれですか。当てはまるものを全てお選びください。

	計	男性	女性
平手で打つ	79.2%	74.5%	83.3%
殴るふりをして、おどす	68.3%	63.9%	72.1%
「お前は何もできない」などと言う	64.4%	56.9%	71.0%
家計に必要な生活費を渡さない	59.5%	51.6%	66.5%
嫌がっているのに性的な行為を強要する	73.5%	65.6%	80.4%
交友関係や行き先、電話、メールなどを細かく監視する	59.7%	51.8%	66.7%
子どもに悪口を吹き込む	51.8%	44.5%	58.1%
どれも当てはまらない	4.0%	5.6%	2.5%
わからない	9.6%	11.7%	7.7%

Q11:あなたの知っているDV相談窓口は次のうちどれですか。当てはまるものを全てお選びください。

	計	男性	女性
警察	59.9%	59.8%	60.0%
神戸市配偶者暴力相談支援センター(DVセンター)	19.9%	17.7%	21.9%
区役所・支所保健福祉課	20.1%	19.0%	21.0%
兵庫県女性家庭センター	13.6%	8.3%	18.3%
民間支援団体	12.2%	10.3%	14.0%
どれも知らない	15.8%	15.2%	16.3%
わからない	14.7%	17.0%	12.7%

**Q12:あなたは、次のようなことに悩んだり困ったりしたことがありますか。
当てはまるものを全てお選びください。**

	計	男性	女性
配偶者・パートナーから暴力(DV)や恋人からの暴力(デートDV)がある	4.8%	3.0%	6.5%
配偶者・パートナー以外の家族からの暴力がある	2.7%	2.1%	3.1%
性的な被害や問題を抱えている(性加害や性的虐待、望まない妊娠など)	1.6%	1.4%	1.9%
人間関係がうまくいかない(学校・職場等)、いじめやハラスメント	10.9%	10.2%	11.5%
仕事が見つからない、仕事が不安定	5.5%	4.9%	6.0%
経済的に困窮している	8.6%	9.0%	8.3%
孤立・孤独を感じる	7.0%	8.1%	6.0%
住まいが定まらない・家に居場所がない	1.3%	1.1%	1.5%
健康面の問題がある(メンタル面も含む)	11.8%	10.2%	13.1%
どれも当てはまらない	60.3%	59.0%	61.5%
わからない	10.7%	14.4%	7.5%

Q13:前問で、「悩んだり困ったりしたことがある」とお答えの方にお聞きします。様々な困りごとについて、誰に相談しましたか、もしくは誰に相談したいと思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

	計	男性	女性
親	24.8%	21.1%	27.5%
きょうだい	13.1%	8.2%	16.8%
配偶者・恋人	18.4%	20.6%	16.8%
親族	6.7%	8.4%	5.4%
友人	19.8%	17.6%	21.5%
公的機関(警察、役所等)	6.8%	7.7%	6.0%
民間支援団体	4.8%	5.9%	4.0%
インターネットで知り合った第三者	2.1%	0.5%	3.4%
相談したかったが、どこに相談したらよいかわからなかった	10.1%	11.1%	9.4%
誰にも相談しなかったし、誰かに相談したいとも思わなかった	27.3%	28.9%	26.2%
わからない	4.3%	5.6%	3.4%

Q14:男女共同参画社会の実現に向け、神戸市に取り組んでもらいたいことについて、ご意見・ご要望があれば記入してください。

- ①政策・方針決定過程への女性参画の拡大 ②育休取得の推進 ③賃上げや福利構成の充実等による生活の安定
 ④企業における男女格差の解消 ⑤男性・女性の退社時間を同じにする ⑥セクハラ・パワハラの防止 ⑦子育て支援の充実
 ⑧シニアに向けた活動もしてほしい ⑨相談窓口や講座の分かりやすく積極的な広報 ⑩啓発・イベント活動の開催
 ⑪相談窓口を面談以外に電話・メール・SNSでもしたい。⑫24時間相談できるようにしてほしい ⑬ハラスメントの具体事例を示し、相談先を提示する ⑭分かりやすく男女共同参画社会のあり方を知らせてほしい ⑮男性が育児参加しやすい環境づくり
 ⑯若年層の貧困を解決すべき ⑰学校・家庭での教育 ⑱社会全体の意識改革 ⑲男女は相互に理解しあうべき
 ⑳目標を定めて数値だけを追いかけることはやめてほしい ㉑男性も含めて幅広く意見を収集してほしい
 ㉒万博や災害支援でもより女性目線を取り入れるのが有効 ㉓男性に妊娠・出産の苦勞を知ってもらう
 ㉔いろいろな年齢層の支援者を確保してほしい ㉕行政だけでは不十分なので民間にも委ねるべき ㉖神戸市職員の研修が必要
 ㉗まずは現施策を進めてから新しい取り組みに移行すべき ㉘性別・年齢に関係なく、地域社会に貢献できるような仕組みづくり
 ㉙住みやすいまちになれば自然と解決すると思う ㉚権利の平等だけではなく、個々の特性を生かして支えあえるような社会をつくってほしい ㉛DVを無くしてほしい(女性から男性へも含む) ㉜中高年に対するDVなどの支援充実
 ㉝最近、女性が優遇され、男性は我慢するのが当たり前の風潮がある。㉞女性だけでなく男性専用車両も作るべき
 ㉟こういった取り組みが逆差別につながる ㊱罰則の導入・強化 ㊲共同親権の具体化 ㊳同性婚を認めてほしい
 ㊴神戸市の問題ではない